

函館の教育 2008

函館市教育委員会

函館市教育目標

- 1 資源を愛護し、すすんでこれを開発利用する市民
- 2 勤労を愛好し、科学的に生産を高める市民
- 3 生命の保存に努め、地域に適した健康生活を実践する市民
- 4 郷土を愛し、広い視野から郷土文化を創造する市民
- 5 政治や法律がわかり、公民として活動をりっぱにする市民
- 6 たがいに敬愛し、民主的実践を実践する市民

市民憲章

- 1 真心あふれる函館市民、あたたかいまち
- 1 健康で働く函館市民、にぎわうまち
- 1 文化を誇る函館市民、はぐくむまち
- 1 自然を生かす函館市民、はぐくむまち
- 1 郷土を愛する函館市民、のびゆくまち

(昭和52年5月3日制定)

都市宣言

- ・ 安全都市宣言
(昭和36年3月6日制定)
- ・ 核兵器廃絶平和都市宣言
(昭和36年3月6日制定)
- ・ 国際観光都市宣言
(平成元年8月1日制定)
- ・ スポーツ健康都市宣言
(平成4年10月10日制定)
- ・ いきいき長寿都市宣言
(平成4年10月10日制定)

「函館の教育」の刊行にあたって

函館市教育委員会教育長 多賀谷 智

近年，我が国においては，急速かつ広範に社会が変化するなか，様々な制度の見直しが行われており，教育におきましても，教育基本法が改正されるなど，国の最重要課題の一つとして，様々な改革が進められております。

本市におきましても，地域の特性を生かし，個性あふれる豊かなまちづくりを進めており，教育の分野におきましては，地域の発展や文化の創造を担う人材の育成や，市民一人ひとりが生きがいをもって，学び合うことができる生涯学習の推進がますます求められております。

教育委員会といたしましては，こうした動向を踏まえ，ふるさとの歴史や文化を尊重し，市民一人ひとりが，自らを高める主体的な学習を進めていくことができるよう，次の4事項を柱として，家庭，学校，地域社会との連携・協力を一層深めた総合的な教育行政の推進に努めてまいります。

ふるさとの未来を拓く人材の育成を図る学校教育の推進
子どもの豊かな成長をはぐくむ教育の推進
豊かな人生を支援する生涯学習の充実
創造性や健やかな心身をはぐくむ文化・スポーツの振興

「函館の教育」は，本市における教育の現況をご理解いただきたく，刊行いたしました。

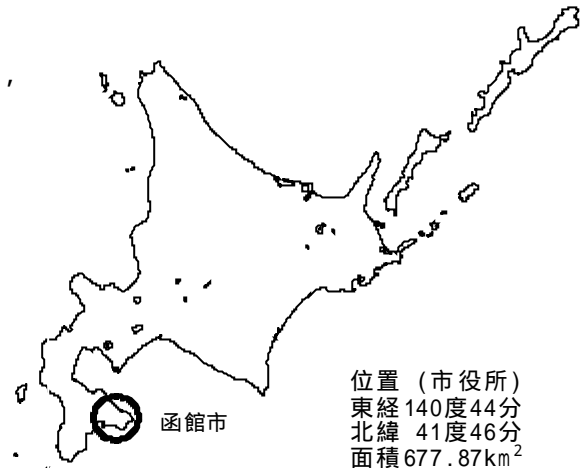
みなさまのさらなるご指導をお願い申し上げます。

函館市の概況

函館は、古くは室町時代の享徳3年(1454年)、津軽の豪族 河野政通が宇須岸(ウスケシ:アイヌ語で湾の端の意)と呼ばれていた漁村に館を築き、この館が箱に似ているところから「箱館」と呼ばれることになりました。

明治2年(1869年)、蝦夷が北海道となり、箱館も函館と改められました。

函館市は、渡島半島の南東部に位置し、東・南・北の三方を太平洋・津軽海峡に囲まれ、西は北斗市・七飯町・鹿部町と接しています。



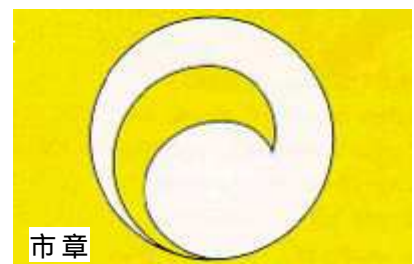
- 市の木 おんこ(いちい)
- 市の花 つつじ(やまつつじ)
- 市の鳥 ヤマガラ
- 市の魚 イカ

姉妹都市

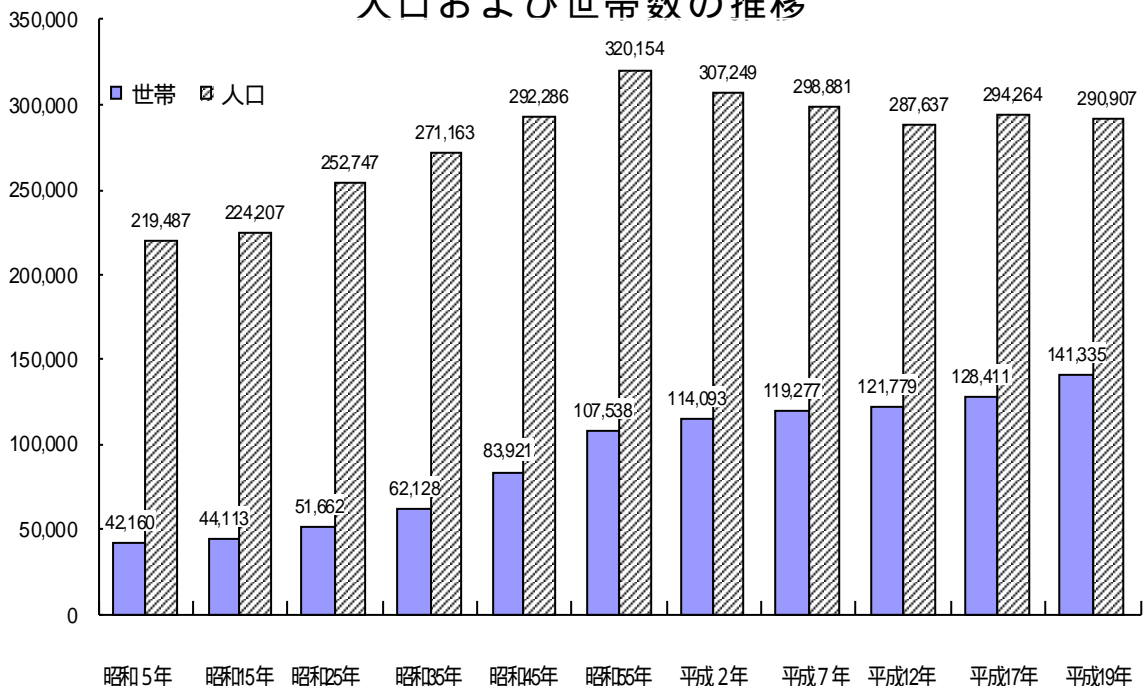
- ハリファックス市 (カナダ S57.11.25提携)
- ウラジオストク市 (ロシア連邦 H4.7.28提携)
- レイク・マコーリー市 (オーストラリア H4.7.31提携)
- ユジノサハリンスク市(ロシア連邦 H9.9.27提携)

友好交流都市

- 天津市 (中華人民共和国 H13.10.18提携)



人口および世帯数の推移



← 国勢調査 → 住民基本台帳 人口7月末日